第１回青森・南部地域道路ネットワーク検討会の概要

１．月日：平成３０年２月９日（金）

２．場所：三八地域県民局会議室

３．出席者：

武山　泰	八戸工業大学教授
井上　隆	青森大学教授
永尾　慎一郎	国土交通省東北地方整備局道路部　道路調査官
佐近　裕之	国土交通省東北地方整備局　青森河川国道事務所長
浅利　次郎	青森県　県土整備部長
山本　隆史	青森県県土整備部　道路課長（兼　青森県道路公社理事）

４．議事：

（１）　目的と進め方
（２）　青森・南部地域の高規格道路ネットワークの概要
（３）　地域の現状と課題
（４）　道路交通の現状と課題
（５）　道路整備の必要性

５．議事内容（主な意見）：

○　地方圏の幹線道路は生活道路としても使われており、混在している産業交通、生活交通を分担する必要があることから、道路整備の必要性に生活支援の観点を盛り込んで欲しい。
○　青森県は数年に一度大雪が発生する地域であるため、幹線道路の整備や管理において大きな課題となっている。季節変動への対応を追加した雪国特有の道路整備のあり方に言及して欲しい。
○　将来、みちのく有料道路の交通量が増えた場合、現在の構造で冬季の安全性を確保できるか懸念している。
○　みちのく有料道路での事故は、見通しの良い箇所や除雪されている箇所でも発生しているため、今後はハード面の整備だけでなく、ソフト面でもドライバーに注意喚起していく必要がある。
○　みちのく有料道路の事故が平成 21 年から減少したのは、サービス向上策として路面のサービスを上げたため。除雪、凍結対策のレベルを上げたことで事故が減った、ソフト対策事例である。
○　上北自動車道開通後の交通量変化に留意する必要がある。
○　検討会で整備方針が決定された際は、将来のネットワークを踏まえた主要幹線道路の管理のあり方についても別途検討を進める必要がある。